

1.	①	11.	③	21.	①	31.	①	41.	②
2.	③	12.	②	22.	②	32.	①	42.	①
3.	③	13.	①	23.	①	33.	②	43.	④
4.	③	14.	②	24.	④	34.	①	44.	②
5.	②	15.	④	25.	④	35.	③	45.	②
6.	④	16.	④	26.	①	36.	①	46.	②
7.	④	17.	②	27.	④	37.	③	47.	④
8.	④	18.	③	28.	①	38.	③	48.	④
9.	③	19.	③	29.	①	39.	③	49.	②
10.	④	20.	①	30.	②	40.	①	50.	④

1.

解答 ①

【解説】

「～を奪い去る、取り除く」という意味に最も近い英語表現は①の **take away** です。ある場所や人から何かを持ち去ることを指します。例えば、「警察は彼の運転免許証を取り上げた」は **The police took away his driver's license.** と表現します。他の選択肢について、② **take over** は「～を引き継ぐ」、③ **take up** は「～（趣味など）を始める」、④ **take after** は「～に似ている」という意味です。

◆補足：take away は、他にも「(飲食物) を持ち帰る」という意味でも頻繁に使われます。特にイギリス英語では、持ち帰り用の食べ物を **takeaway food** と言います。また、数学では「引く」という意味にもなります。

2.

解答 ③

【解説】

「～を準備する」という意味に最も近い英単語は③の **prepare** です。将来の出来事のために、何かを用意したり、自分自身の心構えをしたりすることを指します。例えば、「夕食の準備をする」は **prepare dinner** と表現します。他の選択肢について、① **compare** は「～を比較する」、② **repair** は「～を修理する」、④ **prefer** は「～の方を好む」という意味です。

◆補足：prepare の語源は、ラテン語の **pre-** (前に) + **parare** (用意する) で、「前もって用意する」というイメージが核となっています。名詞形は **preparation** (準備) です。

3.

解答 ③

【解説】

「～を教育する」という意味に最も近い英単語は③の **educate** です。特に学校などの場で、知識や技能を体系的に教えたり、訓練したりすることを指します。例えば、「子供たちを環境問題について教育する」のように使います。他の選択肢について、① **indicate** は「～を示す」、② **estimate** は「～を見積もる」、④ **hesitate** は「ためらう」という意味です。

◆**補足**：**educate** の名詞形は **education**（教育）、形容詞形は **educational**（教育的な）です。**be educated** の形で「教育を受けている」という意味になります。

4.

解答 ③

【解説】

英単語「**inexpensive**」は、「安価な、費用のかからない」という意味の形容詞です。値段が高くないことを示します。例えば、「安価なレストラン」は **an inexpensive restaurant** と表現します。選択肢①「経験の浅い」は **inexperienced**、②「不正確な」は **inaccurate**、④「非効率な」は **inefficient** です。

◆**補足**：**inexpensive** は、否定の接頭辞 **in-** と、形容詞 **expensive**（高価な）が組み合わさった言葉です。類義語の **cheap** も「安い」という意味ですが、**cheap** には時に「安っぽい、品質が低い」という否定的なニュアンスが含まれることがあります。一方、**inexpensive** は単に「値段が高くない」という事実を客観的に述べます。

5.

解答 ②

【解説】

英語表現「**behind one's back**」は、「陰で、本人のいないところで」という意味です。誰かの知らないところで、その人にとって不利益な、あるいは不誠実なことを言ったりしたりする状況を表します。例えば、「陰で人の悪口を言う」は **talk about someone behind their back** と表現します。選択肢①「背中合わせで」は **back to back**、③「以前は」は **back in the day**、④「引き返す」は **go back** などが対応します。

◆**補足**：文字通り「(人の) 背中の後ろで」というイメージが、本人が見たり聞いたりできない場所、つまり「陰で」という意味につながっています。

6.

解答 ④

【解説】

「化石」という意味に最も近い英単語は④の **fossil** です。大昔の生物の死骸や痕跡が、地層の中で石のように硬くなって保存されたものを指します。例えば、「化石を発見する」は **discover a fossil** と表現します。他の選択肢について、① **castle** は「城」、② **vessel** は「船、容器、血管」、③ **muscle** は「筋肉」という意味です。

◆補足：**fossil** は、形容詞として使われることもあります（例：**fossil fuels** 化石燃料）。化石燃料とは、石炭や石油、天然ガスのように、大昔の生物が地中で変化してできた燃料のことです。

7.

解答 ④

【解説】

英語表現「**be similar to** ～」は、「～に似ている」という意味です。二つ以上の物事が、完全には同じではないものの、共通の性質や特徴を持っていることを示します。例えば、「彼の意見は私のと似ている」は **His opinion is similar to mine.** と表現します。選択肢①「～に詳しい」は **be familiar with** ～、②「～で有名である」は **be famous for** ～、③「～に満足している」は **be satisfied with** ～ です。

◆補足：**similar** の名詞形は **similarity**（類似点）です。「全く同じ」を意味する **be the same as** ～ とのニュアンスの違いを理解することが重要です。

8.

解答 ④

【解説】

「利用できる、入手できる」という意味に最も近い英単語は④の **available** です。物やサービスが手に入ること、あるいは人が応対可能であること（手が空いていること）を示します。例えば、「その商品はオンラインで入手可能です」のように使います。他の選択肢について、① **valuable** は「価値のある」、② **avoidable** は「避けられる」、③ **acceptable** は「受け入れられる」という意味です。

◆補足：**available** の名詞形は **availability**（利用できること、入手可能性）です。**be available for** ～（～に入手可能である）や **be available to do**（～することができる）といった形でよく使われます。

9.

解答 ③

【解説】

英単語「**conclusion**」は、「結論」という意味の名詞です。議論や考察の末に到達した最終的な判断や決定、あるいは物事の終わりを指します。例えば、「結論に達する」は **reach a conclusion** や **come**

to a conclusion と表現します。選択肢①「混雑」は congestion、②「状態」は condition、④「自信」は confidence です。

◆補足：conclusion の動詞形は conclude（～と結論づける）です。in conclusion（結論として）は、スピーチや論文の締めくくりで使われる定番の表現です。

10.

解答 ④

【解説】

「政策、方針」という意味に最も近い英単語は④の policy です。政府、政党、会社などの組織が、特定の状況でどのように行動するかを定めた公式な計画や一連の考えを指します。他の選択肢について、① police は「警察」、② polish は「～を磨く」、③ politics は「政治、政治学」です。

◆補足：policy, politics, police は、政治や社会に関連する言葉として混同しやすいため注意が必要です。policy は「計画・方針」、politics は「活動・学問」、police は「組織」と区別しましょう。また、policy には「保険証券」という意味もあります。

11.

解答 ③

【解説】

「～を設立する、確立する」という意味に最も近い英単語は③の establish です。会社、組織、制度などを新たに作ることや、関係、評判などを確固たるものにすることを指します。例えば、「会社を設立する」は establish a company と表現します。他の選択肢について、① estimate は「～を見積もる」、② abolish は「～を廃止する」、④ accomplish は「～を成し遂げる」という意味です。

◆補足：establish は、類義語の found や set up よりもフォーマルな言葉で、永続的なものを設立するニュアンスがあります。名詞形は establishment（設立、施設）です。

12.

解答 ②

【解説】

英語表現「in return」は、「お返しに、返礼として」という意味です。何かをしてもらったことに対するお礼や、何かを与えたことへの見返りとして、という状況で使われます。例えば、「彼は親切にしてくれたので、お返しに夕食に招待した」のように使います。選択肢①「順番に」は in turn、③「要するに」は in short、④「事前に」は in advance です。

◆補足：in return for ～ の形で、「～のお返しに」と、何に対する返礼なのかを明確にすることも多いです。この場合の return は名詞で、「返礼、報酬」といった意味を持ちます。

13.

解答 ①

【解説】

「討論、討論会」という意味に最も近い英単語は①の **debate** です。特定の議題について、異なる意見を持つ人々が議論を交わす、公式な集まりを指します。例えば、「公開討論会」は **a public debate** と表現します。他の選択肢について、② **debt** は「借金」、③ **decade** は「10 年間」、④ **degree** は「程度、学位」です。

◆**補足**：**debate** は動詞としても使われ、「～を討論する」という意味になります。単なる「話し合い」を意味する **discussion** とは異なり、**debate** には賛成・反対の立場に分かれて議論し、聴衆を説得しようとするニュアンスが含まれます。

14.

解答 ②

【解説】

英単語「**worldwide**」は、「世界的な、世界中の」という意味の形容詞です。地球上のあらゆる場所に及んでいることを示します。副詞としても「世界中で」という意味で使われます。例えば、「世界的な成功」は **a worldwide success** と表現します。選択肢①「価値がある」は **worthwhile**、③「野生動物」は名詞の **wildlife**、④「賢明な」は **wise** です。

◆**補足**：**worldwide** は、**world**（世界）と **wide**（広い）が組み合わさった複合語です。類義語の **global** や **international** とほぼ同じ意味で使えますが、**worldwide** はより地理的な広がりを強調するニュアンスがあります。

15.

解答 ④

【解説】

「製造業者、メーカー」という意味に最も近い英単語は④の **manufacturer** です。工場で機械などを使って、商品を大規模に生産する会社や人を指します。例えば、「自動車メーカー」は **a car manufacturer** と表現します。他の選択肢について、① **manager** は「経営者、管理者」、② **minister** は「大臣、牧師」、③ **messenger** は「使者、配達人」です。

◆**補足**：**manufacturer** は、動詞 **manufacture**（～を製造する）に、人を表す接尾辞 **-er** が付いた形です。

16.

解答 ④

【解説】

英語表現「call off 〜」は、「〜を中止する」という意味です。予定されていたイベントや計画を取りやめることを指します。例えば、「雨のため試合は中止になった」は **The game was called off because of the rain.** と表現します。選択肢①「〜を延期する」は **put off 〜**、②「〜を訪問する」は **call on 〜**、③「〜を要求する」は **call for 〜** です。

◆補足：call off と put off の違いが重要です。call off は「中止（キャンセル）」、put off は「延期」を意味します。

17.

解答 ②

【解説】

英単語「fact」は、「事実」という意味の名詞です。証明することが可能で、真実であると知られている事柄を指します。例えば、「歴史的な事実」は **a historical fact** と表現します。選択肢①「意見」は **opinion** で、fact の対義語として頻出します。③「運命」は **fate**、④「欠点」は **fault** や **flaw** です。

◆補足：fact は、主観的な「意見（opinion）」とは異なり、客観的に正しい事柄を指すという区別が非常に重要です。in fact（実際は）や as a matter of fact（実を言うと）といった副詞句は、会話や文章で頻繁に使われます。

18.

解答 ③

【解説】

英語表現「suppose (that)…」は、「…だと思う、…と考える」という意味です。確固たる証拠はないものの、自分の知識や経験に基づいて、ある事柄が事実であろうと推測する際に使われます。例えば、「私は彼が正しいと思う」は **I suppose that he is right.** と表現します。選択肢①「…を提案する」は **propose that...**、②「…を後悔する」は **regret that...**、④「…を確信する」は **be sure that...** です。

◆補足：suppose は、think や believe と似ていますが、これらよりも確信の度合いが低いことを示唆します。「〜することになっている」という意味の **be supposed to do** という形も非常に重要です。

19.

解答 ③

【解説】

「裁判官、審判」という意味に最も近い英単語は③の **judge** です。法廷で、犯罪に対してどのような罰を与えるべきかなどを決定する権限を持つ人を指します。スポーツの「審判」も **judge** と呼ばれます。

す。他の選択肢について、① jury は「陪審員団」、② lawyer は「弁護士」、④ guard は「警備員」です。

◆補足：judge は動詞としても使われ、「～を判断する、裁く」という意味になります。名詞形は judgment（判断、判決）です。

20.

解答 ①

【解説】

「通勤・通学する」という意味に最も近い英単語は①の commute です。家と職場や学校との間を、電車やバス、車などで定期的に往復することを指します。例えば、「私は毎日電車で通勤している」は I commute by train every day. と表現します。他の選択肢について、② compete は「競争する」、③ complete は「～を完了する」、④ compute は「計算する」という意味です。

◆補足：commute は名詞としても使え、「通勤、通学」そのものを指します。また、commuter は「通勤・通学者」を意味します。

21.

解答 ①

【解説】

英単語「empty」は、「空の、中身のない」という意味の形容詞です。容器や場所などに、人や物が何も入っていない状態を表します。例えば、「空の箱」は an empty box と表現します。選択肢②「早い」は early、③「簡単な」は easy、④「熱心な」は eager です。

◆補足：empty は動詞としても使われ、「～を空にする」という意味になります（例：empty a bottle）。対義語は full（いっぱい）です。

22.

解答 ②

【解説】

英単語「border」は、「国境、境界」という意味の名詞です。国と国、あるいは地域と地域を分ける線を指します。例えば、「国境を越える」は cross the border と表現します。選択肢①「注文」は order、③「負担」は burden、④「板」は board で、発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：border は、国境だけでなく、単に「へり、縁」という意味でも使われます。動詞としては「～と隣接する」という意味になり、be bordered by ～（～と境を接している）の形で使われます。

23.

解答 ①**【解説】**

「～を手配する、整える」という意味に最も近い英単語は①の **arrange** です。将来の計画のために準備をしたり、物をきちんと並べて整理したりすることを指します。例えば、「会議を手配する」は **arrange a meeting** と表現します。他の選択肢について、② **exchange** は「～を交換する」、③ **encourage** は「～を励ます」、④ **engage** は「～に従事させる」という意味です。

◆**補足**：arrange の名詞形は **arrangement**（手配、整理、合意）です。**make arrangements for** ～（～の手配をする）という形でよく使われます。

24.

解答 ④**【解説】**

「～しそうである」という意味に最も近い英語表現は④の **be likely to do** です。何かが起こる可能性が高い、という推測を表します。例えば、「明日は雨が降りそうだ」は **It is likely to rain tomorrow.** と表現します。他の選択肢について、① **be able to do** は「～することができる」、② **be willing to do** は「進んで～する」、③ **be bound to do** は「きっと～する」という意味で、**likely** よりも確信度が高いです。

◆**補足**：**likely** は形容詞で、「ありそうな」という意味です。**It is likely that ...** という構文も頻繁に使われます。対義語は **be unlikely to do**（～しそうもない）です。

25.

解答 ④**【解説】**

「～の前に、～より進んで」という意味に最も近い英語表現は④の **ahead of** です。場所的に「～の前方に」、時間的に「～より早く」、あるいは進捗や能力が「～より進んで」いることを示します。他の選択肢について、① **instead of** は「～の代わりに」、② **in front of** は単に物理的な「～の正面に」を指し、時間や進捗の概念は含みません。③ **because of** は「～のために」という意味です。

◆**補足**：**ahead of schedule**（予定より早く）という表現は頻出です。**in front of** との使い分けがポイントで、**ahead of** は時間や順位、進捗といった、より抽象的な「前方」を表すことができます。

26.

解答 ①**【解説】**

「～を確認する、確定する」という意味に最も近い英単語は①の **confirm** です。情報が正しいことを確かめたり、予約や約束などを最終的に決定したりすることを指します。例えば、「予約を確認したいのですが」は **I'd like to confirm my reservation.** と表現します。他の選択肢について、② **conform** は「(規則・慣習に) 従う」、③ **confront** は「～に立ち向かう」、④ **confuse** は「～を混同する、混乱させる」という意味です。

◆補足：**confirm** の語源は、ラテン語の **con-** (完全に) + **firmus** (固い) で、「完全に固める」というのが核となるイメージです。名詞形は **confirmation** (確認) です。

27.

解答 ④

【解説】

「理論」という意味に最も近い英単語は④の **theory** です。ある事象がなぜ起こるのかを説明するための一連の体系的な考えを指します。例えば、「進化論」は **the theory of evolution** と表現します。他の選択肢について、① **therapy** は「(心理) 療法、治療」、② **theology** は「神学」、③ **theme** は「主題、テーマ」を意味します。

◆補足：**theory** は、「実践 (practice)」と対比されることが多いです。**in theory** (理論上は) という表現は、「実際には違うかもしれないが、考えの上では」というニュアンスで使われます。形容詞形は **theoretical** (理論的な) です。

28.

解答 ①

【解説】

「～を救助する」という意味に最も近い英単語は①の **rescue** です。危険な状況や困難な状況から、人や動物を救い出すことを指します。例えば、「燃えている建物から子供を救助する」のように使います。他の選択肢について、② **reuse** は「～を再利用する」、③ **refuse** は「～を拒否する」、④ **reduce** は「～を減らす」という意味です。

◆補足：**rescue** は名詞としても使われ、「救助」そのものを意味します。類義語の **save** よりも、より切迫した危険からの救出というニュアンスが強いです。救助する人は **rescuer**、救助隊は **a rescue team** と言います。

29.

解答 ①

【解説】

「周期、循環」という意味に最も近い英単語は①の **cycle** です。同じ順序で規則的に繰り返される一連の出来事を指します。例えば、「景気の循環」は **the business cycle**、「生命の循環」は **the life**

cycle と表現します。他の選択肢について、② circle は「円」、③ cereal は「シリアル、穀物」、④ ceremony は「式典」です。

◆補足：cycle の語源は、ギリシャ語で「円、輪」を意味する *kyklos* です。bicycle（自転車）の bi- は「2」を意味するので、「二つの輪」というのが元の意味です。この語源から「循環」というイメージを掴むことができます。

30.

解答 ②

【解説】

英語表現「in turn」は、「順番に、次々に」という意味です。人々が一人ずつ、あるいは物事が一つずつ順番に行われる様子を表します。例えば、「彼らは順番にスピーチをした」は *They gave speeches in turn.* と表現します。選択肢①「結局は」は *in the end*、③「事前に」は *in advance*、④「お返しに」は *in return* です。

◆補足：in turn には、「今度は、その結果として」という意味もあります。A が B を引き起こし、今度はその B が C を引き起こす、といった一連の因果関係の中で使われます。例：The company's success led to more investment, which in turn created more jobs.

31.

解答 ①

【解説】

「子守りをする」という意味に最も近い英単語は①の *babysit* です。親が外出している間など、短時間子供の面倒を見ることを指します。他の選択肢について、② *day care* は名詞で「保育所」、③ *bring up* は子供が大人になるまで「育てる」という長期的な行為、④ *look after* は「世話をする」という一般的な意味で、病人やペットの世話にも使えます。

◆補足：*babysit* は、*baby*（赤ちゃん）と *sit*（座る、世話をする）が組み合わさった言葉です。子守りをする人は *babysitter* と呼ばれます。

32.

解答 ①

【解説】

「地域社会、共同体」という意味に最も近い英単語は①の *community* です。同じ地域に住んでいた、共通の関心や特徴を持っていたりする人々の集団を指します。例えば、「地域社会に貢献する」は *contribute to the local community* と表現します。他の選択肢について、② *company* は「会社」、③ *country* は「国」、④ *committee* は「委員会」です。

◆補足：community の語源は、「共通の」を意味するラテン語の communis です。communication（コミュニケーション）や common（共通の）といった単語と同じルーツを持っています。a sense of community（共同体意識）という表現も重要です。

33.

解答 ②

【解説】

英単語「educational」は、「教育の、教育的な」という意味の形容詞です。教育に関連することや、知識や技能を与えるのに役立つことを示します。例えば、「教育制度」は the educational system、「教育的なテレビ番組」は an educational TV program と表現します。選択肢①「感情的な」は emotional、③「例外的な」は exceptional、④「追加の」は additional です。

◆補足：educational は、名詞 education（教育）の形容詞形です。動詞形は educate（～を教育する）です。このように、同じ語源を持つ単語を品詞ごとにまとめて覚えると、語彙力が効率的に向上します。

34.

解答 ①

【解説】

「特定の、明確な」という意味に最も近い英単語は①の specific です。曖昧ではなく、はっきりと限定された一つを指す際に使われます。例えば、「何か特定の理由」は a specific reason と表現します。他の選択肢について、② special は「特別な」、③ superficial は「表面的な」、④ sophisticated は「洗練された、精巧な」という意味です。

◆補足：specific と special の違いに注意が必要です。specific は「他ならぬ、まさにその」という限定のニュアンス、special は「他とは違う、格別な」という価値のニュアンスを持ちます。名詞形は specification(s)（仕様、明細）です。

35.

解答 ③

【解説】

英単語「customer」は、「顧客、客」という意味の名詞です。店で商品を買ったり、サービスの提供を受けたりする人を指します。例えば、「顧客サービス」は customer service と表現します。選択肢①「衣装」は costume、②「税関」は customs（常に複数形）、④「慣習」は custom で、いずれもスペルや発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：類義語の **client** も「顧客」ですが、こちらは弁護士や会計士など、専門的なサービスを受ける依頼人を指すことが多いです。一方、**customer** は小売店などで商品を購入する、より一般的な「客」を指します。

36.

解答 ①

【解説】

「～を寄付する」という意味に最も近い英単語は①の **donate** です。慈善団体や支援を必要とする人々に対して、お金や品物を無償で提供することを指します。例えば、「慈善団体にお金を寄付する」は **donate money to a charity** と表現します。他の選択肢について、② **dominate** は「～を支配する」、③ **hesitate** は「ためらう」、④ **calculate** は「～を計算する」という意味です。

◆補足：**donate** の名詞形は **donation**（寄付）、寄付をする人は **donor** と呼ばれます。**blood donation**（献血）のように、金品以外のものを提供する場合にも使われます。

37.

解答 ③

【解説】

英語表現「**be indispensable for** ～」は、「～にとって不可欠である、絶対必要だ」という意味です。それなしでは成り立たないほど重要であることを表します。例えば、「水は生命にとって不可欠だ」は **Water is indispensable for life.** と表現します。選択肢①「～に責任がある」は **be responsible for** ～、②「～に満足している」は **be satisfied with** ～、④「～に依存している」は **be dependent on** ～です。

◆補足：**indispensable** の中の **dispense** は「分配する、なしで済ます」という意味の動詞です。それに否定の接頭辞 **in-** が付くことで、「なしで済ますことができない」→「不可欠な」という意味になります。類義語の **essential** や **vital** よりも強い必要性を表します。

38.

解答 ③

【解説】

「(不十分なもので) ～で間に合わせる」という意味に最も近い英語表現は③の **make do with** です。十分ではないが、手元にあるもので何とかやりくりすることを表します。例えば、「私たちは古いコンピュータで間に合わせなければならなかった」のように使います。他の選択肢について、① **make up for** は「～を埋め合わせる」、② **make sense of** は「～を理解する」、④ **make fun of** は「～をからかう」という意味です。

◆補足：この表現は、理想的なものがない状況で、代用品を使って切り抜けるというニュアンスを含んでいます。

39.

解答 ③

【解説】

「～を魅了する」という意味に最も近い英単語は③の **fascinate** です。人の注意や興味を強く引きつけ、夢中にさせることを指します。例えば、「その物語は多くの読者を魅了した」のように使います。他の選択肢について、① **hesitate** は「ためらう」、② **facilitate** は「～を容易にする、促進する」、④ **frustrate** は「～をいらいらさせる、挫折させる」という意味です。

◆補足：**fascinate** は、受け身の **be fascinated by/with** ～（～に魅了される）の形で使われることが非常に多いです。形容詞形は **fascinating**（魅力的な）、名詞形は **fascination**（魅了、魅力）です。

40.

解答 ①

【解説】

「概念」という意味に最も近い英単語は①の **concept** です。多くの具体的な事柄に共通する、抽象的で一般的な考えを指します。例えば、「自由という概念」は **the concept of freedom** と表現します。他の選択肢について、② **concern** は「関心事、心配」、③ **concert** は「演奏会」、④ **contact** は「連絡、接触」を意味します。

◆補足：**concept** は、動詞 **conceive**（～を心に抱く、思いつく）の名詞形です。ラテン語の **con-**（共に）と **capere**（つかむ）が語源で、「多くのものを一つにつかみ取る」というイメージが「概念」につながっています。

41.

解答 ②

【解説】

「～を翻訳する」という意味に最も近い英単語は②の **translate** です。ある言語で書かれたり話されたりした言葉を、別の言語に変えることを指します。例えば、「英語を日本語に翻訳する」は **translate English into Japanese** と表現します。他の選択肢について、① **transmit** は「(信号・情報など)を送る」、③ **transport** は「～を輸送する」、④ **transfer** は「～を移す、乗り換える」という意味です。

◆補足：**translate** の語源は、ラテン語の **trans-**（横切って）+ **latus**（運ばれた）で、「一方から他方へ運び移す」というイメージが「翻訳」につながっています。名詞形は **translation**（翻訳）、翻訳者は **translator** です。

42.

解答 ①

【解説】

英単語「annual」は、「年一回の、毎年の」という意味の形容詞です。年に一度起こることや、一年間に関わることを示します。例えば、「年次報告書」は an annual report、「年間収入」は annual income と表現します。選択肢②「動物」は animal、③「別の」は another、④「古代の」は ancient です。

◆補足：annual の語源は、ラテン語で「年」を意味する annus です。anniversary（記念日）も同じ語源を持っています。副詞形は annually（毎年）です。

43.

解答 ④

【解説】

英単語「since」は、時を表す「～以来」という意味の他に、理由を表す接続詞として「…なので、…だから」という意味でも頻繁に使われます。聞き手がすでに知っているであろう理由を述べる際に使われることが多いです。選択肢①「…だけれども」は although、②「…ならば」は if、③「…の間」は while です。

◆補足：理由を表す接続詞として、since, as, because がありますが、because が最も直接的に強い因果関係を示すのに対し、since と as はより補足的な理由を述べる際に使われる傾向があります。

44.

解答 ②

【解説】

英単語「previously」は、「以前に、前に」という意味の副詞です。話題にしている時点よりも前の時を指します。例えば、「彼は以前、教師として働いていた」は He previously worked as a teacher. と表現します。選択肢①「個人的に」は personally、③「おそらく」は probably、④「正確に」は precisely です。

◆補足：previously は、形容詞 previous（前の、以前の）に、副詞を作る接尾辞 -ly が付いた形です。類義語の before よりも、ややフォーマルな響きがあります。

45.

解答 ②

【解説】

英単語「**politician**」は、「政治家」という意味の名詞です。特に、選挙で選ばれて政府の一員として働く人を指します。例えば、「野党の政治家」は **an opposition politician** と表現します。選択肢①「警察官」は **police officer**、③「汚染」は **pollution**、④「政策」は **policy** で、いずれも政治や社会に関連する単語なので混同しないようにしましょう。

◆補足：politician は、名詞 **politics**（政治）から派生した言葉で、人を表す接尾辞 **-ian** が付いています。同じく **-ian** が付く職業名には **musician**（音楽家）や **comedian**（コメディアン）などがあります。

46.

解答 ②

【解説】

英単語「**duty**」は、「義務、職務」という意味の名詞です。仕事の一部として、あるいは道徳的に正しいこととして、行わなければならない事柄を指します。例えば、「市民としての義務」は **a citizen's duty** と表現します。選択肢①「ほこり」は **dust**、③「日記」は **diary**、④「汚れ」は **dirt** です。

◆補足：**duty** には、海外からの輸入品に課せられる「関税」という意味もあります（例：**customs duty**）。**on duty**（勤務時間中）と **off duty**（非番）という対の表現は、警察官や医療従事者の文脈で頻出します。

47.

解答 ④

【解説】

英単語「**dinosaur**」は、「恐竜」という意味の名詞です。中生代に生息していた、爬虫類の一群を指します。例えば、「恐竜の骨」は **dinosaur bones** と表現します。選択肢①「ダイヤモンド」は **diamond**、②「日記」は **diary**、③「病気」は **disease** です。

◆補足：**dinosaur** の語源は、ギリシャ語の **deinos**（恐ろしい）と **sauros**（トカゲ）で、「恐ろしいトカゲ」というのが元の意味です。比喩的に、時代遅れで巨大な組織や人物を指して使われることもあります。

48.

解答 ④

【解説】

英単語「**neighborhood**」は、「近所、近隣地域」という意味の名詞です。ある特定の街区や、その周辺の地域を指します。例えば、「安全な地域」は **a safe neighborhood** と表現します。選択肢①「幼年期」は **childhood**、②「国籍」は **nationality**、③「必要性」は **necessity** です。

◆補足：neighborhood は、neighbor（隣人）に、状態や集団を表す接尾辞 -hood が付いた形です。アメリカ英語では neighborhood と綴りますが、イギリス英語では neighbourhood となることもあります。

49.

解答 ②

【解説】

「～を（公式に）禁止する」という意味に最も近い英単語は②の **ban** です。法律や規則によって、ある行為や物事を許さないことを指します。例えば、「公共の場所での喫煙を禁止する」のように使います。他の選択肢について、① **fan** は「扇、ファン」、③ **van** は「バン（貨物車）」、④ **pan** は「平なべ」です。

◆補足：**ban** は名詞としても使われ、「禁止令」を意味します。類義語の **prohibit** や **forbid** よりも、社会的な規則や公的な決定による禁止というニュアンスが強いです。

50.

解答 ④

【解説】

「（乗り物などが）衝突する」という意味に最も近い英単語は④の **crash** です。車や飛行機などが、激しくぶつかって事故を起こすことを指します。例えば、「その車は木に衝突した」は **The car crashed into a tree.** と表現します。他の選択肢について、① **crush** は「～を押しつぶす」、② **clash** は「（意見などが）衝突する」、③ **cash** は「現金」です。

◆補足：**crash** は名詞としても使われ、「衝突事故」を意味します。また、コンピュータシステムが「クラッシュする、機能停止する」という意味でも広く使われます。
